

2月9日の臨時会で新しい正副議長が決まりました!



議長
舩井 文夫

村松村と石神村が合併して東海村となった60年目の節目の年に、東海村議会発足以来、第33代目の議長に就任することになりました。身に余る光栄であるとともに、改めて責任の重さを感じております。議会運営につきましては、1月の村議会議員選挙の結果、11人の過半数を超える大会派が誕生しましたが、議会は議論の場であり、少数意見にも配慮して、村民に開かれた議会運営に努めてまいります。

山田村長の目指す「持続可能なまちづくり」を議会と執行部が一体となって、本村発展と住民福祉の向上に職責を全うします。

結びに私の持論である「東海村市の実現」と議員各位ならびに村民の皆様方にご支援・ご協力をお願い申し上げあいさつとします。



副議長
岡崎 悟

この度、議員の皆様よりご推挙をいただき、副議長の重責を拝しました。

もとより微力ではございますが、「誠実に」「謙虚に」「丁寧に」を信条に、動いてまいります。

時代はまさに地域・地方の時代です。本村も独自の課題に直面しています。その中で、村民の皆様の声に真摯に耳を傾け、多様な民意を正確にくみ取り、それを包み込みながら合意を形成して、前に進めなければなりません。困難で簡単なことではありませんが、「村民の皆様とともに歩む議会」を目指し、議長の下、懸命に職責を努めてまいります。今後とも宜しくお願いいたします。

原子力問題調査特別委員会

平成28年度原子力問題調査特別委員会がスタート

平成28年3月1日、原子力問題調査特別委員会、メンバー10人、村上邦男議員を委員長としスタートを切った。原子力立地自治体の避難計画、原子力施設の新規制基準対応、低レベル放射性廃棄物の処分計画など、多くの課題を抱えてのスタート。審査案件は、審議依頼「日本原子力発電(株)東海L3廃棄物埋設施設の新増設計画にかかる審議依頼について」と請願第28-1号「東海第二発電所の安全審査を早急に行うことを国に求める請願」の2件である。トレンチ処分計画は、意見聴取、現地視察、説明等を受け審査を進めていく。請願は、請願者からの説明を受け、審査した結果、本委員会(3月22日)では賛成多数で「採択すべきもの」とされた。



東海村



東海第二原子力発電所